

創立 1986 年

2021～2022年度クラブ目標

『新たな奉仕に踏み出そう
ロータリーの次の百年のために』

会長 鈴木 孝 幸
幹事 須藤 正 樹



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～22年度国際ロータリーテーマ

第1676回例会

令和3年8月5日(12:30～13:30)



○ソング

- 国歌（君が代） ●奉仕の理想

○ビジター

- 白河南RC 会長 佐藤靖一様 ●白河南RC 幹事 藤田文生様

○スマイルBOX

- 白河南RC 会長 佐藤靖一様（本年度南クラブの会長を務めます佐藤靖一です。一年間よろしくお願いいたします。）
- 白河南RC 幹事 藤田文生様（本年度幹事の藤田文生です。本日はよろしくお願い申し上げます。）
- 鈴木孝幸会長（本日は宮本委員長、ビジョン推進の卓話ありがとうございました。また、先週の納涼例会では、たくさんの方に参加頂きありがとうございました。親睦委員会のみなさん、御苦勞様でした。）
- 須藤正樹幹事（今日はコロナワクチンの接種なので気合を入れてスマイルします。）
- 金田昇会員（納涼例会では、家族みんなで楽しませていただき、良い夏休みの思い出を作れたようです。親睦委員会のみなさん、ありがとうございました。）
- 成井正之会員（本日は誕生日のお祝い、ありがとうございます。八月二十九日で、とう年とって58才になります。オリンピック野球、優勝するといいいですね。）
- 青木大会員（とりあえずスマイル。）
- 佐藤清作会員（白河南クラブ 佐藤会長様、藤田幹事様、ようこそ。宮本委員長さん、大切なお話をありがとうございました。）
- 吉野敬之会員（本日、会員増強クラブ第3位の表彰を頂きました。前年度増強が成功したのは、会員の皆様方の御助力の賜物でございます。全メンバーでお祝いしたいと思います。今年度も引き続き頑張ります。）
- 宮本多可夫会員（本日は、ビジョン研修委員会の委員長として卓話させていただき、ありがとうございました。）
- 永野文雄会員（先週の納涼例会、お世話になりました。白河南クラブの佐藤靖一会長、藤田幹事さん、ようこそ。宮本委員長さん、卓話ありがとうございました。）
- 関谷亮一会員（白河南クラブ佐藤会長、藤田幹事、ようこそおいで下さいました。先週の納涼例会大変ありがとうございました。親睦委員会の皆様に感謝致します。又当農園の野菜をお使いいただきありがとうございました。）
- 運天直人会員（先日は当委員会が企画しました納涼例会にご参加いただきありがとうございました。会長ご指名ですのでスマイルしますが、指名すると次はまた倍づけで奉仕頂けるとしますので、会長幹事皆様ありがとうございました。）
- 藤田和克会員（先日の納涼例会にご参加ありがとうございました。充実した例会・打ち上げだったのでスマイルします。）
- 鶴丸彰紀会員（先日の納涼バーベキューに皆様多くご参加頂きありがとうございました。委員側も非常に楽しく設営できました。皆様のおかげです。感謝致します。あと先日ご協賛のお願いをさせて頂きました、親子アユつり体験会ですが、晴天に恵まれて無事盛会でした。誠にありがとうございました。）
- 堀田一彦会員（南クラブの佐藤会長、藤田幹事、ようこそ！）

▶第1676回例会出席状況

(R3年8月5日)

① 出席免除を受けていない正会員数	50名
② 出席免除の適用正会員数	14名
③ 全正会員数	64名
④ ①の出席者数	31名
⑤ ①のメイクアップ者数	0名
⑥ ②の出席者数	10名
⑦ = ④ + ⑤ + ⑥ (メイクアップ補填後の出席会員数)	41名
⑧ = ③ - (② - ⑥)	60
⑨ = ⑦ / ⑧ × 100 (例会出席率)	68.3%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

鈴木孝幸会長



皆さん、こんにちは。本日も車の温度計でいうと34.5度もある酷暑の中、皆さんに会に参加していただきまして大変ありがとうございます。まず初めに、お客様をご紹介いたします。白河南ロータリークラブの佐藤靖一会長。藤田文生幹事。ありがとうございます。佐藤靖一会長にはお時間取って一言いただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。そして、先週の7月29日は納涼例会だったんですが、参加していただきました皆さん大変ありがとうございました。当日は、鶴丸親睦委員長の降らせた雨の中、総勢68名の参加ということで非常に盛り上がった例会となったと思います。特に、親睦委員会のメンバーの方は3時くらいにお子様連れで家族でお手伝いに来ていただきまして、準備そして撤収まで面倒見てくれたことを感謝申し上げます。今思うと、いわきでコロナのクラスターが発生して、尚且つ2日に知事から蔓延を要請して、今もう福島県は蔓延防止の状況にあるということで、ちょっと日数が狂ったらあのような素晴らしい納涼例会は中止ないしは延期になっていたのかなと思っております。わたくし会長と須藤幹事の日頃の行いが結果を生んだのかなと思っております。もちろん、鶴丸委員長も頑張っておりますので。冗談はさておきまして、親睦委員会があれだけ頑張っていたいたということで、納涼例会の打ち上げでお誘いいただいて、私と須藤幹事で参加させていただきました。私と須藤幹事共々、しっかり会費を大枚を奉仕させていただきました。本当に凄い大枚です。ですので、多分親睦委員会の参加されたメンバーの方は奉仕には奉仕で返すということで、多分今日か来週の例会は休みなので再来週にスマイルで大奉仕。特に、執拗に私に奉仕を願った運天会員には少し多く奉仕とスマイルを返していただけるのかなと密かに思っておりますので、皆さんで密かに今後の動向を見守っていきたいと思います。

毎年ロータリーというのは月に月間テーマというのがありますが、今月のロータリー月間テーマは、会員増強、新クラブ結成推進月間です。ということで、今週は宮本委員長のビジョン推進研修委員会の担当例会であります。事前に内容とかは敢えて確認していませんでしたので、どんな内容か楽しみにしていますので、宮本先生よろしくお願いいたします。来週の例会は先程も言いましたがお盆で休会を挟みまして、再来週は会員増強月間であるので兼子聡委員長の会員増強委員会の担当例会になっています。会員増強期間でありますので、皆さん是非シェカール・メータR I 会長は仰ってお

りました「Each One Bring One」。一人が一人の会員を入会させるというチャレンジを是非是非今月から始めていただきたいと思います。兼子委員長をはじめとした会員増強委員会の皆さん、そして私、須藤幹事も皆さんのフォローアップをしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたしますと思います。

先日、ロータリー奉仕デーの説明会に私と須藤幹事で参加して参りましたのでご報告いたします。今現在、村上社会奉仕委員長が担当でロータリー奉仕デーとして、「誇れる町プロジェクト」というものを、10月19日に計画してるところであります。事業としては、県南分区エリアの駅前を子供たちと共に清掃活動を行って、私たちの町そして故郷に誇りを持てるようにするという事業であります。今回は金田ガバナー補佐のもとに、私共白河西クラブが主幹クラブとして県南分区8クラブ、白河で3クラブ、須賀川で2クラブ、そして矢吹、東白川、石川とそのクラブが一丸となって事業を実施しましょうと呼びかけまして、全クラブの皆さんが気持ちよくご参加いただけることになりましたことを皆様にご報告申し上げます。多分、県南分区の8クラブが一丸となって行う事業というのは、前例がないかと思いますが、県南分区では歴史的な事業になるかと思いますが、金田ガバナー補佐も他の分区ガバナー補佐に胸を張って自慢できる事業になるかと思っています。また、これだけの事業ですから志賀利彦ガバナーも、金田ガバナー補佐からのお願いで直接現場に来てくださると約束をしてくれたようなので、今後村上委員長を中心として事業内容を具体的に詰めていきますので、実施の際には皆さんで盛り上げていただきたいしたいと思います。

それと先日、青木大国際奉仕委員長から皆さんにメール、ファックスで連絡いたしました「福島から贈る感謝とエールのコンサート」という案内ですが、それをちょっと説明させていただきたいと思います。この事業は、中央分区ガバナー補佐と金田ガバナー補佐との繋がりで、ロータリー奉仕デーとして西クラブも協賛させていただくというもので、8月30日にいわきの「アリオス」で開催される予定となっております。ちなみに、コンサートの演奏者も司会者もロータリーの米山学友の方で構成されております。予定としまして、当日西クラブから有志を募ってコンサート会場に行ってコンサートを聞く、ないしはユーチューブでの拝聴での参加と考えているんですが、先日のいわきのクラスターによる影響では事業自体重要な決断がなされるのかなと思っております。多分、実際コンサート会場での視聴はできないかもしれませんが、そういった際には皆さんには積極的にユーチューブによる視聴をしていただければ、よろしくお願いいたします。

あともう一つだけ、新しい今年度の年次計画書ができました。この表紙のデザインは、今回私がお願いしたも

のじゃなくて渡部さんのほうで選んでいただいたロータリーの歯車を表す、すごく私はいいなと思って気に入っております。中身を皆さん、是非是非読んでみてください。ということで、ちょっと時間も迫ってしまったということで会長の時間終わりたいと思います。今日はよろしくお願いします。

■お客様の挨拶

○白河南ロータリークラブ 会長 佐藤靖一様



皆さん、こんにちは。白河南ロータリークラブ22代目会長を務めます佐藤靖一です。よろしくお願いします。前回、会長をやった時は11代目の会長で10周年が終わった次の年だったんですけども、本来であれば今回は新しい会長さん、ミノワさんになる予定だったんですけど、自治会長が辞められなくて会長は引き受けられないということで、私がピンチヒッターで会長になりました。今年度の白河南クラブの会長の目標として、なかなか例会だったり委員活動が人数が少ないために上手くいってないところもあるものですから、そこら辺を重点的に変えていけたらなと思って、そこら辺を目標に今年度は頑張っていきたいなと思っております。いつも西クラブさんにお伺いすると、きちんとした例会とSAAのリーダーシップが素晴らしいなといつも来るたびに感じております。南クラブもこのような例会ができたかなといつも思ってるんですけどなかなか上手くはいかなくて、どうしてもずっと幹事を私やってたものですからマンネリ化してしまって、上手くいかなくてどうしたら上手くいくのかなということをこの一年間で考えていけたらなと思っております。今後、一年間またよろしくお願いします。

■幹事報告

須藤正樹幹事



○2021-2022年度D2530 県南分区ガバナー補佐 金田昇：2021-22年度RI第2530地区県南分区負担金のお願い
○白河ユネスコ協会 会長 小野利廣：令和3年度福島県ユネスコ活動研究協議会の開催について（通知）

- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：会員増強・新クラブ結成推進月間 リソースのご案内
- 2021-22年度ガバナー事務所 事務局 岡山直緒美：ガバナー事務所夏季休暇のお知らせ
- 公財)ロータリー米山記念奨学会 受付担当 大庭陽子：「ロータリー米山記念奨学会普通寄付：申告用領収書、受付開始のお知らせ
- いわき分区ガバナー補佐 阿部弘行：ロータリー奉仕デーご協力のお願い
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：国際ロータリー

- 日本事務局経理室より2021年8月RIレートのお知らせ
- 白河南ロータリークラブ：年次計画書の送付について
- ロータリーの友委員会委員長 ロータリーの友事務所 代表理事 鈴木宏：新型コロナウイルス感染症に関する友事務所対応の件（第11報継続）
- 国際ロータリー日本事務局 事務局長 小林宏明：日本事務局「在宅勤務延長」のお知らせ
- 2021-22年度ガバナー事務所 事務局 岡山直緒美：地区大会記念ゴルフ大会の日程変更について

■委員会報告

○青少年奉仕委員会

村上堅二会員



皆さん、こんにちは。今年度8月の28、29日がCKB野球大会の予定でしたが、こういった形で神奈川の学校が来れないということで、GKBという形で今年度は開催させていただくようになっております。打ち合わせ等々これから入るんですけども、是非とも皆様、本心配られましたポロシャツを着て応援に来ていただければなというふうに思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○雑誌広報委員会

大竹憂子委員長



皆さん、こんにちは。雑誌広報委員会の大竹です。今月8月号の「ロータリーの友」を紹介いたします。まず、5ページのほうにRI会長メッセージが載っていますので、皆さんご覧になっていただければと思います。続きまして、7ページから19ページまでずっと載っているんですけど「ロータリー衛星クラブ」ということで、次のページからずっと細かく詳しく載ってますのでご覧になっていただけたらと思います。日本ではまだ1パーセントということで、数値的にはちょっと少ないんですけども、少人数でもできるロータリークラブということで載ってますのでご覧になっていただきたいと思います。20ページのほうですが、「日本のロータリー100周年を祝う会」ということで、次の100年への扉が開くというようなことで紹介されてますのでご覧いただきたいと思います。続きまして、26ページのほうに2回目となるバーチャル国際大会が6月12日から16日に開催されたということで、その内容が載ってますのでご覧いただきたいと思います。30ページのほうには、「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」ということで、これも詳しくわかりやすく載ってますのでご覧いただければと思います。38ページになります「世界中のロータリープロジェクト」ということで、世界の取り組みというか国ごとに載ってますので、こちらをご覧いただければと思います。81ページから「洪沢栄一の精神を受け継ぐ」ということで載っている

んですけど、最後の時にはロータリーの職業奉仕と繋がることだと思えるというようなことで書いてあるんですけども、渋沢栄一から学ぶというようなことで中身が書いてありますのでご覧いただければと思います。その次のページですね、76ページからの内容ですと子ども食堂、最近お寺さんで子ども食堂開催してるところが多いので、これもまた興味深い話なので是非ご覧になっていたきたいと思います。それから、57ページから66ページまでが各ロータリーの活動が細かく載ってますのでこういうのもご覧になりながら、また我が白河西ロータリークラブでも何か参考になることがあるかもしれないと思いますので、ご覧になっていただければと思います。今回は、以上な感じでご紹介させていただきます。中にもっと細かくいろいろ載ってますので、是非今月も楽しみに読んでいただければと思います。

○35周年実行委員会

堀田一彦前幹事



皆さん、こんにちは。本日、皆さんにお配りしたロータリーの西クラブのポロシャツですが、これはC K Bですとか猪苗代の水草回収事業ですとか、西クラブの事業等の時に着用していただければというふうに思います。また、サイズ確認しながらお渡ししたんですが、万が一サイズの間違い等ありましたら、私のほうまで連絡お願いいたします。

○会員増強功績クラブの表彰

吉野敬之直前会長

表彰状 会員増強クラブ第3位

白河西ロータリークラブ会長吉野敬之殿

貴クラブはクラブ活性化の理念に基づき、非凡なリーダーシップを発揮されロータリー精神を貫き会員数純増6名を達成されました。この実績は誠に賞賛すべきものであり他のクラブの模範であります。



ここにその功績を称え表彰いたします。

ガバナー 石黒秀司

会員増強拡大情報委員会委員長 比佐臣一

○親睦委員会

藤田和克副委員長

・誕生日

仁平喜代治会員、池田浩章会員、成井正之会員

鈴木典雄会員、鈴木信教会員、島田修一会員



■本日のプログラム

ビジョン推進研修委員会

○宮本多可夫委員長



皆さん、こんにちは。ビジョン推進研修委員会の担当ということで、今日は貴重な時間を私のほうのつたない卓話でお付き合いいただきたいと思いますというふうに思います。去る7月18日、地区のほうでビジョン研修セミナーがございまして、そこにおいていろいろ講師の方の話も含めて、討論も含めていろいろロータリーの在り方みたいなものを勉強してきたわけですが、私の知識不十分なところでその語られているところを十分伝えられるかどうか自信はないんですが、できるだけ私が理解した範囲の中で、本日の限られた時間の中ではございますが伝えてみたいと思っています。一応、レジュメを用意してきましたのでそれを参考にしながら、そこから外れる場合もありますけれどもよろしく願います。まず、このロータリーの指導者あるいはそれぞれの役職の方々の基本的な問題意識というのは、どんな理想な組織もそのままでは衰退するのだと。常に変革といいますか、常に変わっていかなければ組織は弱体化するのだと。その変わるというのはどういうことかという、時代に合わせるとそういうことだと思いますけれども。それでは、社会とはどのように変わっているんだろうかということから、ちょっとお話は遡っていきなさいなという、これは抽象的には言葉は言葉としてありますけれども、一体中身はどういうことなんだろうと。皆さん自身はどういうことをイメージするのか。現在は、このウェブ会も含めてA Iの発達といいますか変化といいますか、それによって我々の社会生活もどんどん変わりつつある。このロータリーに集まってきた方々は若いと言ってもそれなりの年齢ですから、本当は社会構成としてはそのロータリーに参加しない若い人たちの意識がどうなってるかというのが非常に将来的にも重要なことで、そこでどういうふうな変化が起こっているのかということに、本当は思いたさなきゃならないところがあると思いますね。S D G s、これ聞いたことあると思いますけれども、これS D G sのことを勉

強なさっている方は大体わかっているかと。中小企業とか会社の人達、あるいはいろんな集まりの中で言われていると思いますけど。これは国連が2030年までの間に実現しようとする持続可能な変革の目標でディベロップメント、変革のゴールということでやってるんです。それは項目は17の項目で、更にその項目を6つか7つくらいに分解していきますと169。更に、その下で300くらいの細かい論点に入っていくわけですけども、これは今、世界中で国も政府も地方公共団体も、あるいは公的な団体も含めて。あるいは、企業、そういうことも含めてこういう目標で進みましょうという話になっている中で、これは遠い世界でやられてることだから白河では関係ない。そういうふうな考え方もあり得るかもしれませんが、実はそうでもなくて結局は世の中がどういう方向に進んでるのかということに対しての、基本的な考え方が必要なことです。国際はそういうことで、日本はもともと優秀な民族なんだからそんなことを意識しなくても日々の生産に努力していけばいいんだというような、そういう考え方もあり得るかもしれませんが。例えば、現在は私より皆さんのほうが知ってるんだと思いますが、JAS規格という日本の規格というのが正直なところ、もう有限無実になってるというんですね。世界に通用しないと。それから、携帯電話の問題もすべて国内的なところばかりに目を向けていって、世界標準に対しての配慮がないといいますかね。グローバルに対する認識不足。そのことによって、その競争力自体を失っていると。日本企業のその一番強いところも失いつつあると。将来的にこのまま何もやらなければ、日本は中小企業の集まりだけで、自分の技術は特殊な技術だからそれで生きていけるわいというだけの社会になる可能性だってあるということですね。何を言いたいのかというと、世界が今、何に向かってどうしてるかということに対してのきちんとしたアンテナがなければならぬと。ロータリーの話からちょっとそれて申し訳ないんですが。男女平等という問題がありますね。これからロータリーの話にも繋がるので言っておきますけど、日本の社会の中で今、国連が毎年発表している統計の130数か国の中で、日本は男女平等の指標どのくらい、何番目くらい国際基準を満たしているかわかりますか。毎年、新聞にちらっと載っているんですけど。先進国で何番目くらい。あんまり聞いたことないですか。130何か国のうちの110番目くらいです。もう、先進国なんて全然相手にされていません、男女平等の世界の中では。例えば、安倍首相なんかも国際基準に合わせるべく、国会議員も3割あるいは大臣も3割とかいうような言葉は言いましたけども実行はしてないというのが現実ですね。その背景には、日本は日本の社会の中でそんなにアメリカの価値を強要される必要はないというような、ある種思い上がった考え方がある中で、なかなか進まないのかなというような印象があり

ます。この日本の遅れというのは本当に著しくて、この男女平等に関してはですね。アメリカの投資顧問会社は、日本の大企業の中で女性の取締役のいないところからはもう投資するなど。そういうアドバイスさえ出ているという状況なんですね。だから、要するに世の中何に進んでいるかということと男女平等はただ題目ばかりじゃなくて、ダイバーシティといいますか多様性の中で柔軟な発想と柔軟な会社の経営というようなところで、会社を持続可能な発展を導くためにはそういう実現が必要だということなんですが、それに対する日本社会全体のアンテナの張り方がちょっと鈍いかなというような印象で、ちょっと脱線しましたが社会がどういうふうに見ているかということに対して、それに対してきちんとアンテナを張ってなければ組織自体が衰退すると。そういうことの中で、ロータリーの指導者たちが今やっているのが、ロータリーのレジュメの①、マイロータリーからコピーしてきたもので2枚目見てもらいたと思いますけど。これはロータリーの価値について要約してきたものですけど。2019年のDEI、(多様性、公平さ、インクルージョン) こういう価値観の基づいて我々は進むんだということを決議しました。ただ、これだけでは足りないのでも更に発展的に次のことを決議しましたというのが、この理事会の報告なんですけど。四角で囲んでおいたところをちょっと読みます。私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的傾向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイディア、考え、価値観、信念を持つ人々による貢献を大切にしますということですね。これ自体も抽象的で大変なことなんですが、ここでいろいろある中で性的傾向というのは差別もしないと。それを尊重すると。例えば、このオリンピックの中で言われている性的転換者の重量挙げのニュージーランドの選手なんかもいたようですけども、それに対する嫌悪感みたいなものも新聞報道にもありますし、それを認めたIOC国際委員会、オリンピックのほうの価値観ですね。我々ロータリーもそれを尊重しますと言ってるんです。ところが、今の日本の社会にとってはこの一応国際基準があって、官僚がそれを翻訳してきて官僚がいろいろ文章にして回しますが、なかなかそれが実際の、それはお上が言ってるんだから一応聞いたふりしようということで、実行しないというのが実際です。この性的少数者に対する考え方、あるいは企業の問題についても本当はいろいろ変革しなきゃならないところもあると思います。ただ、言いたいのはロータリーはそこまで進んでるということですね。我々はそういう価値観を共有して、その活動を進めていると。そういうところをいろいろ自任していただきたいと思います。ちょっと話が辛口で変な方向にばかり行って申し訳ありませんが。これが現時点で、2021年

6月23日の理事会で決議された事項です。この方向に基づいて、これからの決議審議会、あるいは規定審議会なども進んでいくということになります。決議審議会とか規定審議会ってどんなものかという、③のレジュメを見てもらいますと、下の規定審議会というのは3年に1回これを開きます。それに基づいて全世界のロータリーの指針を決めるということですね。決議審議会というのは、毎年開かれるものです。これの細かい手続きは私も地区に行かないとわかりませんが、細かい手続きは日本の中でもこの決議委員会の委員になって、各クラブ各地区からそれぞれ集約はして、今年はこういう決議を出そうとかなんかにというようなプロセスはあるんですが、その委員になるのが日本では2人か3人くらいの人達がやっているようです。そういう中で、非常に大きな形でいえばロータリーはこういう方向に進んで行くと。その中で、更に多くの指導者の人達が心配してるのは、結局ロータリーの活動の衰退というのは数といいますか、会員の減少が一番心配であるということの中で、どういうふうに魅力あるものを作っていくかということになるんですけど、レジュメ2番の「個人とロータリー」というところで話すとすると、ロータリーの基礎体験というのは無意識に我々はやってるけど、もう少し言葉にするとまず奉仕があって、それから親睦、仲間との友情ができて、それで自己成長すると。そういうことに対しての喜びを確認しあって、我々はこのロータリーというのを辞めないで元気に活動してるということになろうかと思えます。それを別な言葉でロータリー的に整理すると、2番目のほうでロータリーは奉仕と親睦というのを車の両輪として、その車の上にダイバーシティ、多様性とか高潔性、あるいはリーダーシップの価値を乗せて活動しているというふうにも表現できるかなということなんですけど。私が今回まとめる中で感じたのは、私の勉強不足からあれですが、高潔性という言葉をこういうロータリーの価値観というような形で客観化して表現しているということは最近じゃないかと思うんですね。これを今まではロータリーのプライドみたいなところで、言わなくてもこれは当然のことだみたいなことだったと思うんですが、これがこういう表現で高潔性というようなこともロータリーの価値観だというようなことも言われているというのが、ちょっと私自身も驚きを持ちながら感じたところでございます。結局、この研修委員会の中でもクラブの魅力をどういうふうに持っていくかと。元気のあるクラブ、個性のあるクラブ、個性のあるというのは歴史が古いとか新しいとか、あるいは女性だけだとか、女性の会員が多いとかいろんな個性があると思えますけど。それと、参加したいクラブ、それと誇りに思えるクラブ。こういうクラブ、こういうことを目標にしながらクラブ自体の運営の方向性をやったらいいんじゃないかということですね。最終的には、個人個人に関連するは、

私の好きなクラブ、私は楽しいクラブ、私の好きな白河西ロータリークラブ、参加して楽しい白河西ロータリークラブと。そういうふうに、今解釈できると、個人個人が解釈できるように持っていくところの中になって。それで最終的には、新会員に対する配慮の重要性といいますか、全体的な統計的なことでいえば我がクラブはそうでもないでしょうけども、退会者のうちで3年以内の退会者が一番数が多いという、そういう危機感を持っているんですね。だから、それに対してどうやって導入教育をしたりするかというようなことも当然、我がクラブは情報委員会とかいろんな事でやっているので、それなりにそういう傾向はないとは思っています。我がクラブは、新入会員歓迎会も当然やっているし、あるいはホームミーティングの活用ということで、ホームミーティングに参加した会員は例会よりもロータリーらしいロータリーという、初めてロータリーに参加して楽しいというふうに実感したとか。そういう感想があります。そういうことで、このホームミーティングが研修委員会でもこういうホームミーティングの重要性というのはもちろん共通しておりますし、我がクラブはそれを実行してきて、それが功を奏してるという状況だと思います。それで、今年度もこのホームミーティングにおきまして実行することになりますが、その時のテーマ設定については会長をお願いしておきますけども、ビジョン委員会のほうからも意見をちょっと聴取していただきまして、テーマをいろいろ絞りながら楽しい時間を過ごせるというような形にしていきたいと思えます。必ずしもね、この間の研修委員会を100パーセント表現できたかどうかということでもないんですが。ちょっと最後忘れました。今日、たまたま今ね、「ロータリーの友」ちょっと一回閉まっちゃったかもしれませんが、もう一回ちょっと出してみてください。その40ページを開いてみてください。R I 理事会メンバー紹介とあるんです。ここで何か感じることもあるんですかね。女性が45パーセントくらいいますね。要するに、世界はこういうふうに進んでいるというところの一つのまさにこれはロータリー自身のものでしょ。だから、日本社会では考えられない感じられない、そういう状況になっていると。それを我々ロータリーの中で勉強する中で、世界ではどっちの方向見てどういうふうに進んでるのかということも含めて、自分の会社、自分の企業、あるいはそういうものの方向付けの一つのヒントにしてもらえればいいんじゃないかというような事も含めて、ちょっといろんな脱線部分もありましたけど、以上をもって私の卓話としたいと思います。本日はご清聴、ありがとうございました。